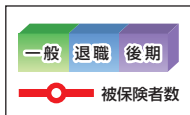
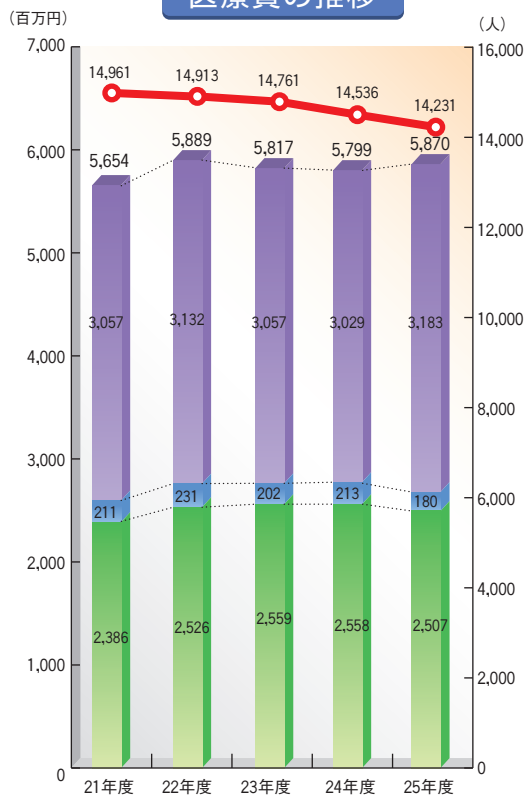


那須烏山市

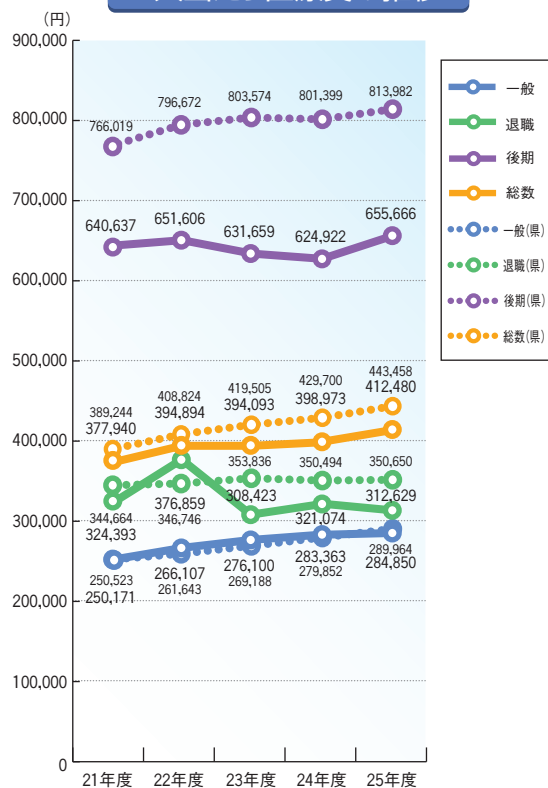
那 須 烏 山 市



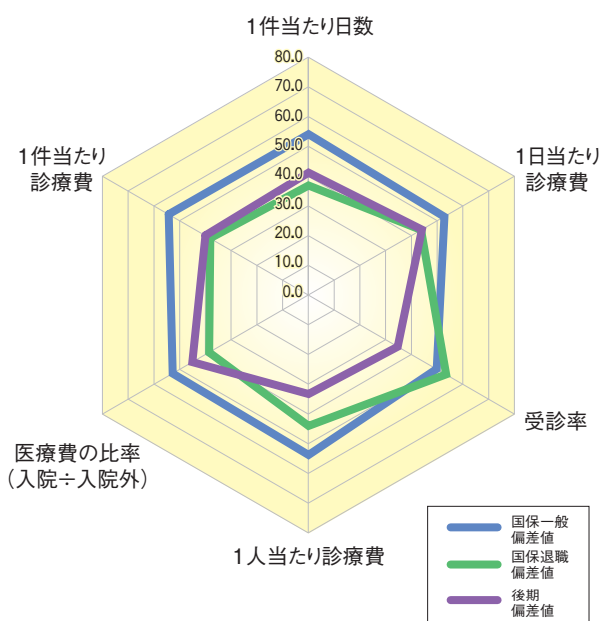
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

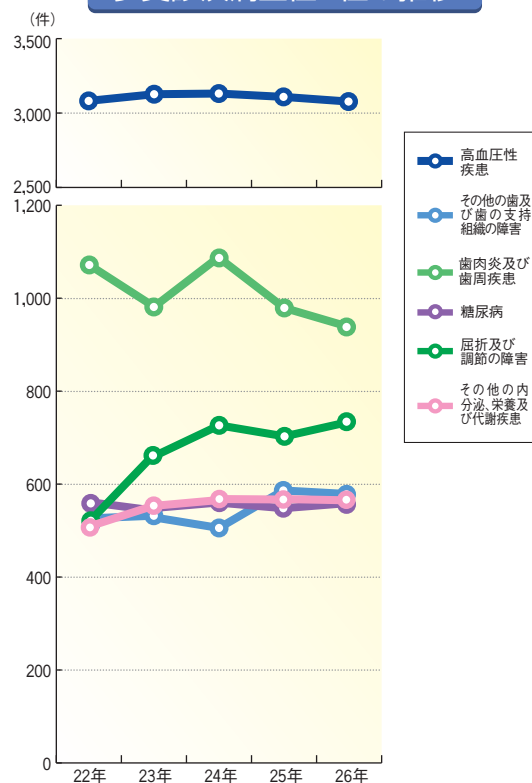


平成25年度
3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

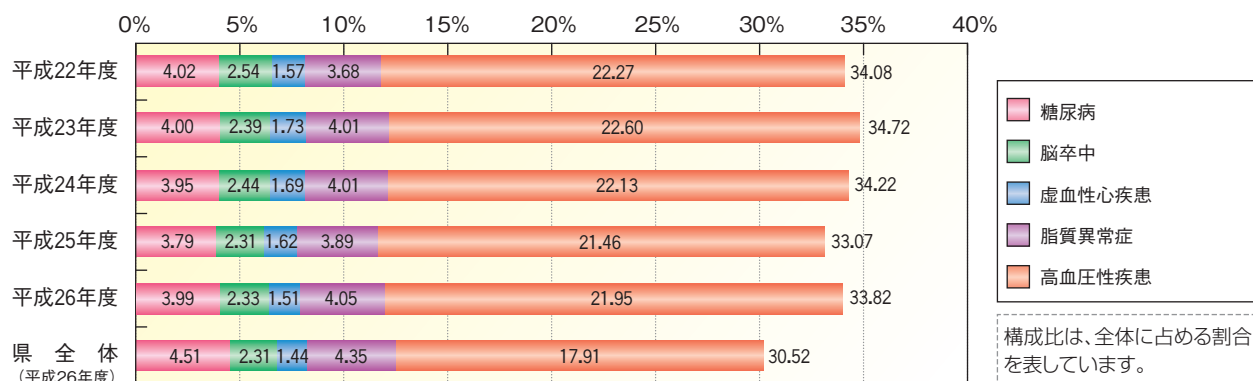


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県 (平均) が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

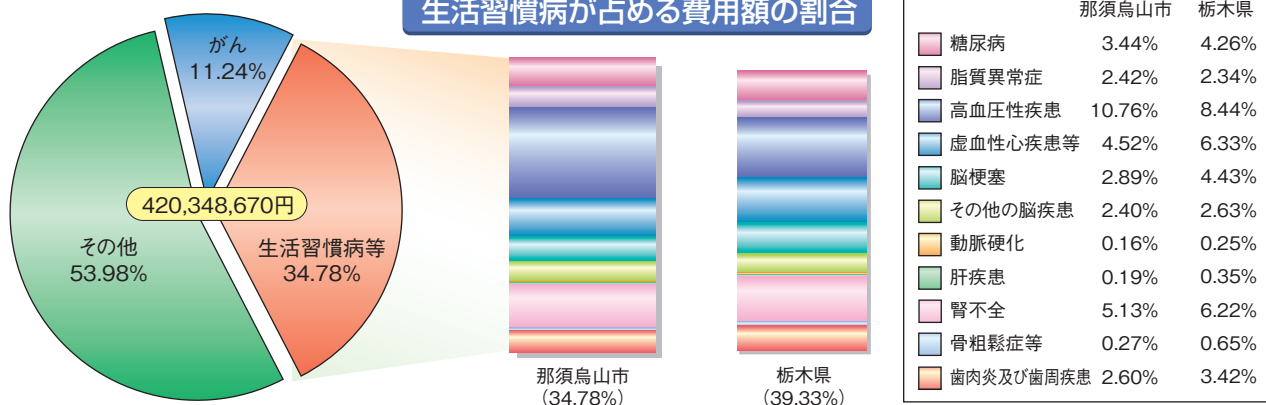
多受診疾病上位6位の推移



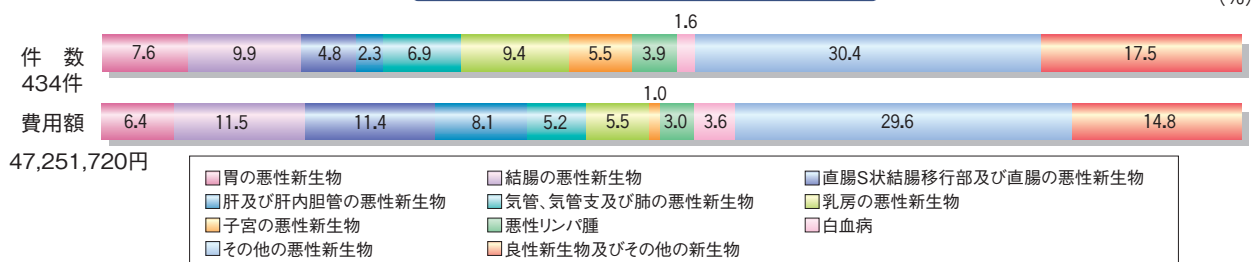
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



那須烏山市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,506,963千円(98.0%)、退職179,762千円(84.6%)、後期3,183,314千円(105.1%)で、全体では5,870,038千円(101.2%)と増加している。()は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は14,231人で、内訳は一般8,801人、退職575人、後期4,855人である。前年度比較すると全体で97.9%と減少している。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は412,480円(13,507円増)、一般は284,850円(1,487円増)、退職は312,629円(8,445円減)、後期は655,666円(30,744円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、受診率以外の諸率がいずれも高く、退職は受診率以外がいずれも低い偏差値となっており、後期は、全ての諸率において、低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成26年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の歯及び歯の支持組織の障害、5位その他の内分泌・栄養及び代謝疾患、6位糖尿病で、中でも3位の屈折及び調節の障害は年々増加しており、平成22年と比較し、件数は1.38倍、費用額で1.53倍となっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、その中でも高血圧性疾患の占める割合が高い比率となっている。

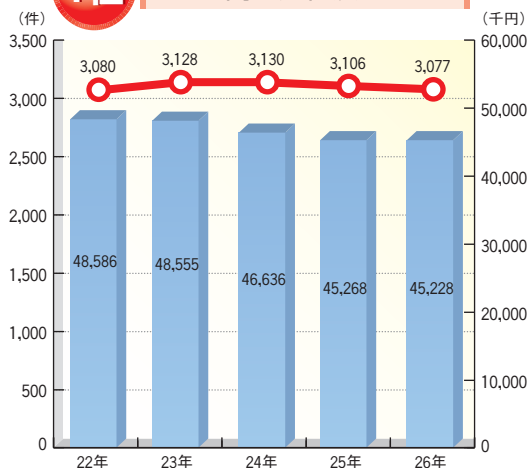
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が420,348,670円で、がんが11.24%、生活習慣病関連が34.78%を占めている(県全体 がん11.61%、生活習慣病関連39.33%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.76%、腎不全5.13%、虚血性心疾患等4.52%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、結腸の悪性新生物、乳房の悪性新生物、費用額では、結腸の悪性新生物、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

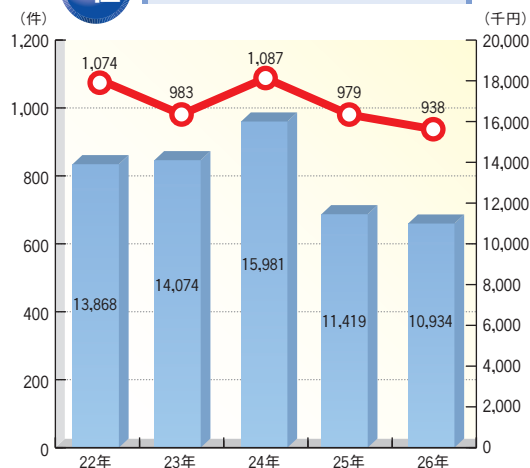
1位

高血圧性疾患



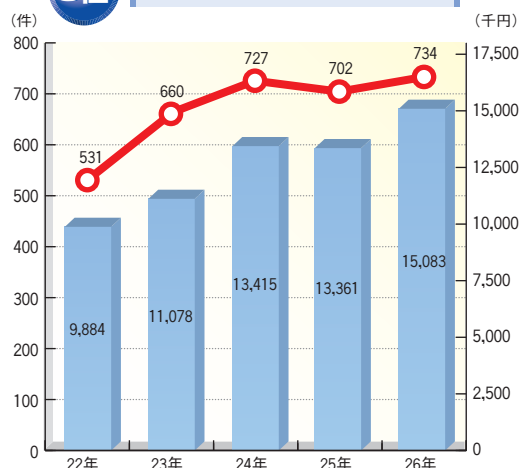
2位

歯肉炎及び歯周疾患



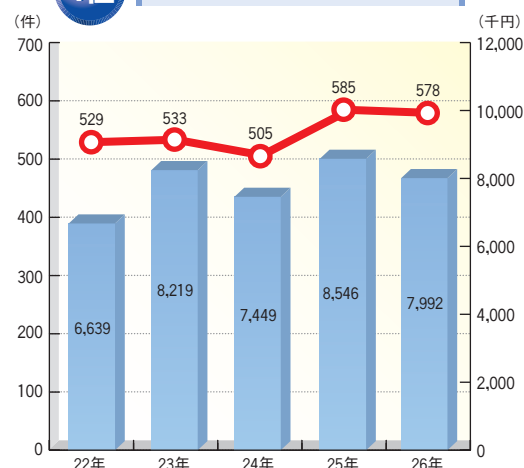
3位

屈折及び調節の障害



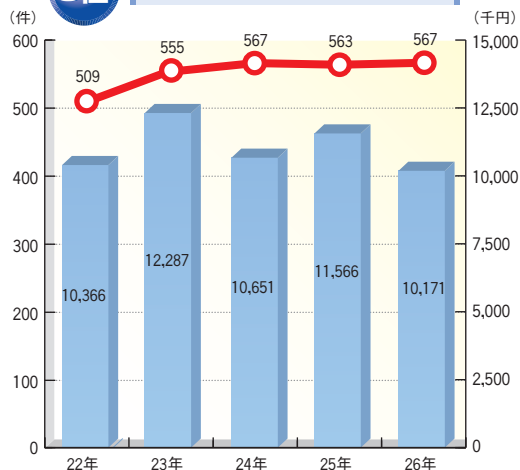
4位

その他の歯及び歯の支持組織の障害



5位

その他の内分泌・栄養及び代謝疾患



6位

糖尿病

